

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: こども安全課
 担当名: 養護担当
 内線: 3331

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
S88	児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業費			一般会計	民生費	児童福祉費	児童措置費	児童自立支援総合対策事業費		
事業期間	平成28年度～	根拠法令	児童福祉法第41条 (任意)		針路	04	子育てに希望が持てる社会の実現		SDGsゴール 16	
					分野施策	0403	児童虐待防止・社会的養育の充実		SDGsターゲット 16-2	
1 事業概要	児童養護施設等を退所後すぐに就業する者又は大学等において高等教育を受ける者に対し、安定した生活基盤を築くための支援や就職に必要な資格取得のための資金の貸付を行う。 児童養護施設退所者等自立支援貸付事業費 98,493千円			5 事業説明 (1) 事業内容 児童養護施設退所者等の中には、保護者がいない又は保護者の養育拒否等により生活基盤が脆弱なため、やむなく離職や中途退学に追い込まれる者もあり、また、保護者からの援助がないために就職に必要な資格の取得が困難な場合がある。 このため、児童養護施設等を退所後すぐに就業する者又は大学等において高等教育を受ける者等に対し、安定した生活基盤を築くための支援や就職に必要な資格取得のための支援を早急に進めることを目的とし、資金の貸付を行う。 (2) 事業計画 県社会福祉協議会に、貸付原資を積立金として補助する。県社会福祉協議会は、対象となる児童に対して貸し付けを行うとともに、家計相談等の実施を通じて、貸付金の償還に向けた助言指導を行う。 (3) 事業効果 ○貸付人数実績 令和2年度: 42人 令和3年度: 39人 令和4年度: 47人 ○貸付金額実績 令和2年度: 34,266千円 令和3年度: 37,977千円 令和4年度: 44,944千円 【成果指標 (アウトカム)】 金銭面での不安がなくなり、離職率や大学等の中退率の低下につながる (4) 退所者アフターケア事業との連携状況 既に実施している「児童養護施設退所者等アフターケア事業」及び「希望の家事業」の受託事業者との協力を通じて、児童養護施設退所者等の自立を支援する。						
2 事業主体及び負担区分 (国9/10・県1/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.3人=2,850千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金								
決定額	98,493	88,643						9,850	98,493	
現計額	0							0		

事業内訳書

事業名	児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業費		
単位事業名	児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業費	予算額	98,493千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 児童福祉費補助金	88,643	—	児童福祉事業対策費等補助金 補助率 9/10
一般財源	9,850	—	
合計	98,493	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	98,493	—	県社会福祉協議会へ貸付原資及び事務費を補助する
合計	98,493	—	